

# アペリード SB型

## 取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択して下さい。

### 【引戸門扉】

#### ■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。
- 扉の施工は、水平に仕上げてください。
- 扉走行床面は、水平に仕上げてください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

#### ■使用上のご注意

- 製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。
- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落し棒の付いている商品は落し棒も同時に降ろしてください。
  - 開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。また、人・物等の障害物がない事を確認してください。
  - 扉に物を載せないでください。
  - 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

### ■梱包明細書

#### ①戸当り掛けパネル

名 称	員 数
① 戸当り掛けパネル	1
② レバーハンドル	2
③ レバーハンドル用角芯	1
④ キー	3
⑤ レバーハンドル止めネジ M6×8六角穴付止めネジ	2

#### ②戸当り受けパネル

名 称	員 数
⑥ 戸当り受けパネル	1

#### ③中間パネル

名 称	員 数
⑦ 中間パネル	1

#### ④後部パネル

名 称	員 数
⑧ 後部パネル	1

#### ⑤控え機セット

名 称	員 数
⑨ 控え機(後部)	1

#### ⑥戸当り柱(片開きのみ)

名 称	員 数
⑩ 戸当り柱	1
⑪ 柱・レール連結用ボルト M8×14六角ボルト	1
⑫ 柱・レール連結用ボルト M8六角ナット	1

#### ⑦台車セット

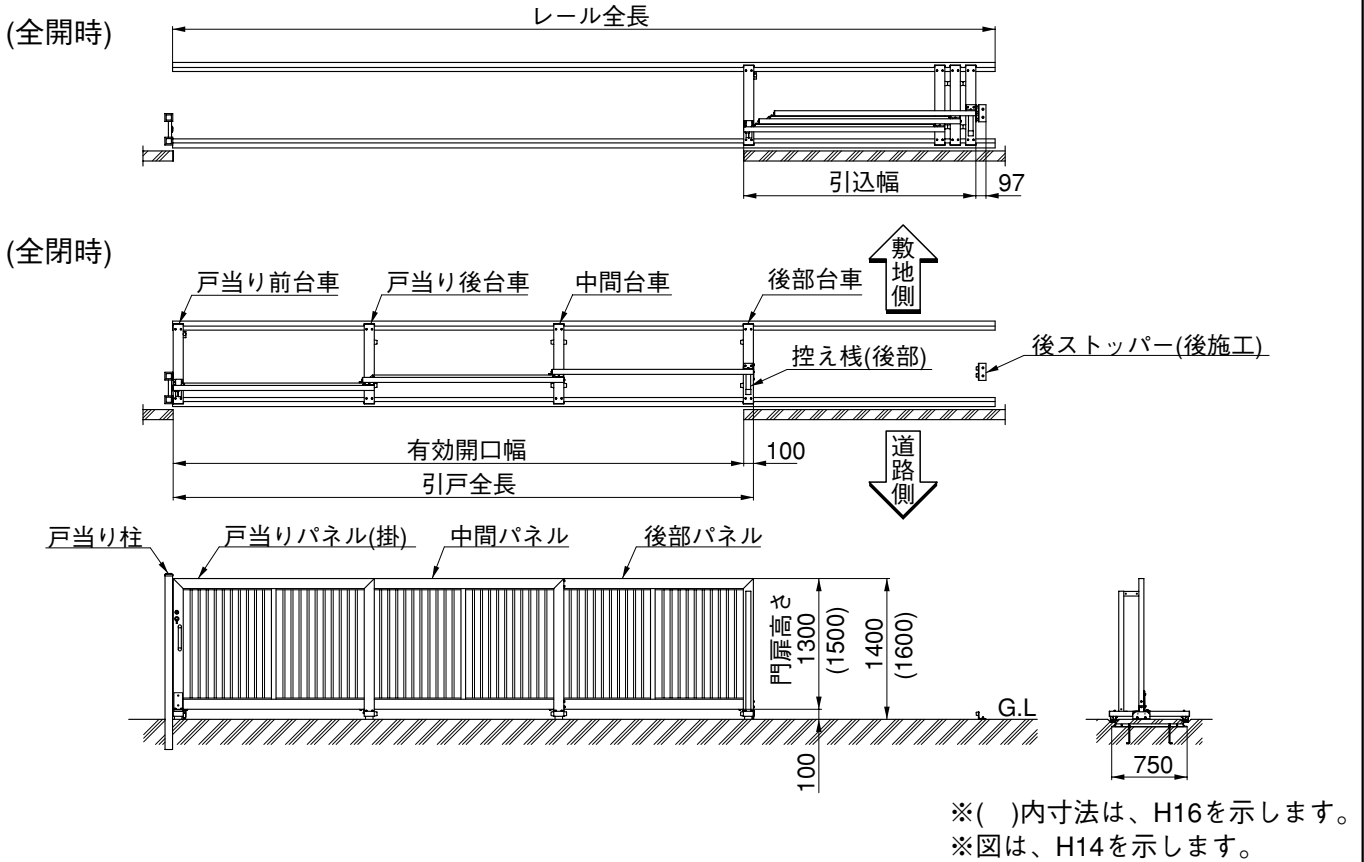
名 称	員 数		
	先頭	中間	後部
⑬ 台車	2	1	1
⑭ 台車パネル	3	1	1
⑮ 框インナースリーブ	2	1	1
⑯ 框インナースリーブ台座	2	1	1
⑰ 框・台車補強金具(前)	2	1	1
⑱ 框・台車補強金具(後)	—	1	1
⑲ 転倒防止金具	4	2	2
⑳ 台車キャップ	4	2	2
㉑ 横車	—	2	2

#### ⑦つづき

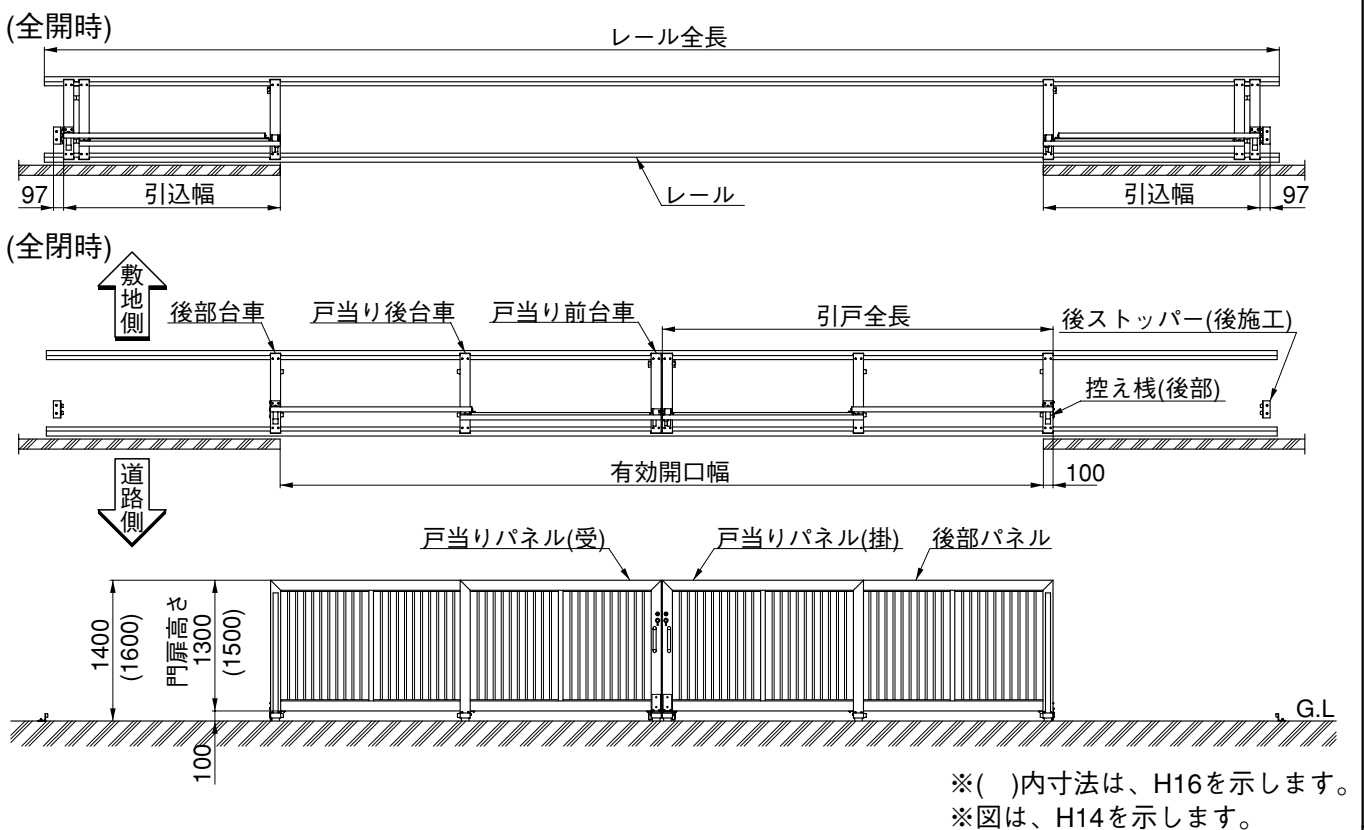
名 称	員 数		
	先頭	中間	後部
㉒ 控え機金具-1	—	—	2 (2-3連は1)
㉓ 控え機金具-2	—	—	1
㉔ 落し棒	1	—	—
㉕ 落し棒受け	2	—	—
㉖ 把手道路側	1	—	—
㉗ 把手敷地側	1	—	—
㉘ 前ストッパー(台車)	—	—	1
㉙ 前ストッパー(GL)	—	—	1
㉚ 後部ストッパー	—	—	1
㉛ 框スリーブ・台車取付ボルト M12×70六角ボルト	8	4	4
㉜ 框スリーブ・台車取付パネ座金 M12用	8	4	4
㉝ 台車・框取付ボルト M8×25六角ボルト(平・パネ座金付)	12	4	4
㉞ 台車・下機取付ボルト M6×16六角ボルト(平・パネ座金付)	8	6	4
㉟ 転倒防止金具取付ボルト M6×30六角ボルト(パネ座金付)	8	4	4
㊱ 横車取付ボルト M8×16六角ボルト(平・パネ座金付)	—	4	4
㊲ 前ストッパー(台車)取付ボルト M8×16六角ボルト(平・パネ座金付)	—	—	5
㊳ 台車キャップ取付ネジ M4×12ナベ小ネジ(平・パネ座金付)	16	8	8
㊴ 控え機金具取付ボルト M6×16六角ボルト(平・パネ座金付)	—	—	6 (2-3連は4)
㊵ 控え機取付ボルト M5×16六角ボルト(平・パネ座金付)	—	—	6 (2-3連は4)
㊶ 落し棒取付ネジ M5×8ナベ小ネジ(平・パネ座金付)	4	—	—
㊷ 把手取付ネジ M10×130ナベ小ネジ(パネ座金付)	2	—	—
㊸ 前後ストッパー取付アンカー φ10×60オールアンカー	—	—	4

# 1. 姿図および基本寸法図

## 1-1 片開き



## 1-2 両開き



### 片開き

連数	呼称	全幅	有効開口幅	引込み幅
2連	2-30-14(16)	2889	2789	1658
	2-35-14(16)	3389	3289	2158
	2-40-14(16)	3889	3789	2158
	2-45-14(16)	4389	4289	2658
	2-50-14(16)	4889	4789	2658
3連	3-55-14(16)	5274	5174	2312
	3-60-14(16)	5774	5674	2312
	3-65-14(16)	6274	6174	2812
	3-70-14(16)	6774	6674	2812
	3-75-14(16)	7274	7174	2812
4連	4-80-14(16)	7659	7559	2466
	4-85-14(16)	8159	8059	2966
	4-90-14(16)	8659	8559	2966
	4-95-14(16)	9159	9059	2966
	4-100-14(16)	9659	9559	2966
5連	5-105-14(16)	10044	9944	3120
	5-110-14(16)	10544	10444	3120
	5-115-14(16)	11044	10944	3120
	5-120-14(16)	11544	11444	3120
	5-125-14(16)	12044	11944	3120
6連	6-130-14(16)	12429	12329	3274
	6-135-14(16)	12929	12829	3274
	6-140-14(16)	13429	13329	3274
	6-145-14(16)	13929	13829	3274
	6-150-14(16)	4429	14329	3274

### 両開き

連数	呼称	全幅	有効開口幅	引込み幅
2連×2	(2-30)×2-14(16)	5789	5589	1658
	(2-35)×2-14(16)	6789	6589	2158
	(2-40)×2-14(16)	7789	7589	2158
	(2-45)×2-14(16)	8789	8589	2658
	(2-50)×2-14(16)	9789	9589	2658
3連×2	(3-55)×2-14(16)	10559	10359	2312
	(3-60)×2-14(16)	11559	11359	2312
	(3-65)×2-14(16)	12559	12359	2812
	(3-70)×2-14(16)	13559	13359	2812
	(3-75)×2-14(16)	14559	14359	2812

★有効開口幅(mm)

(片開き) 総パネル全長-115×(n-1)-96mm

(両開き) 総パネル全長-115×(n-2)-181mm

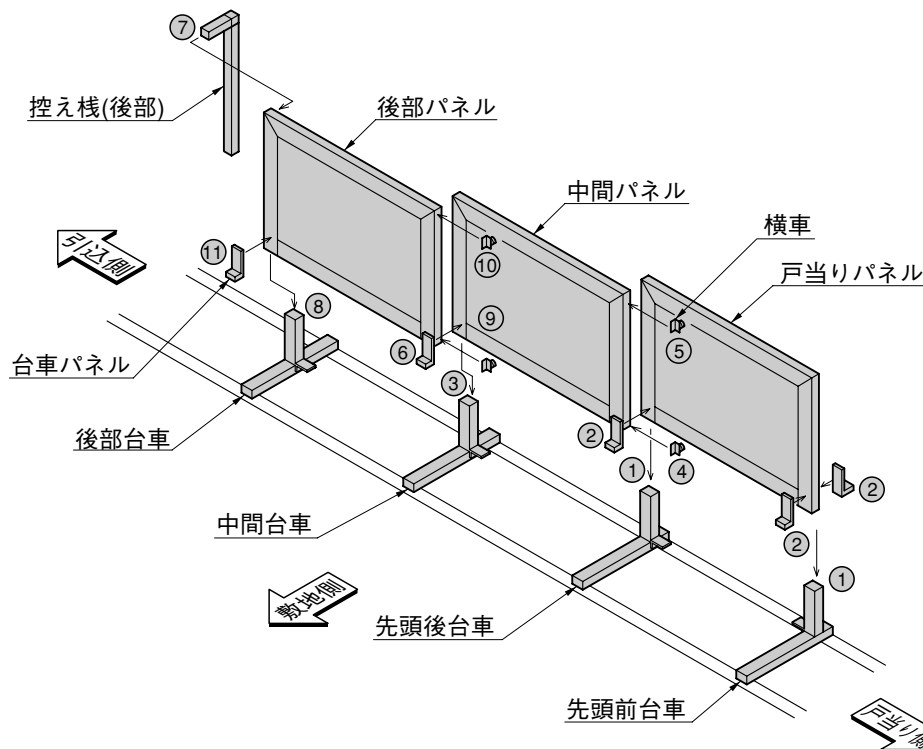
(n:パネル数)

★引込み幅(mm)

使用最大パネル幅+154×(n-1)+4mm

(n:パネル数)

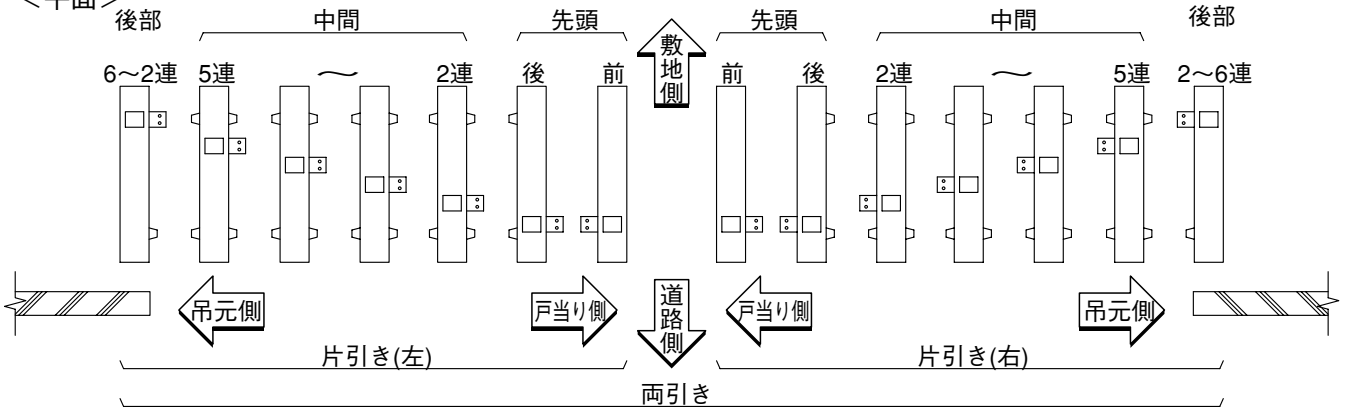
## 2.組立順序



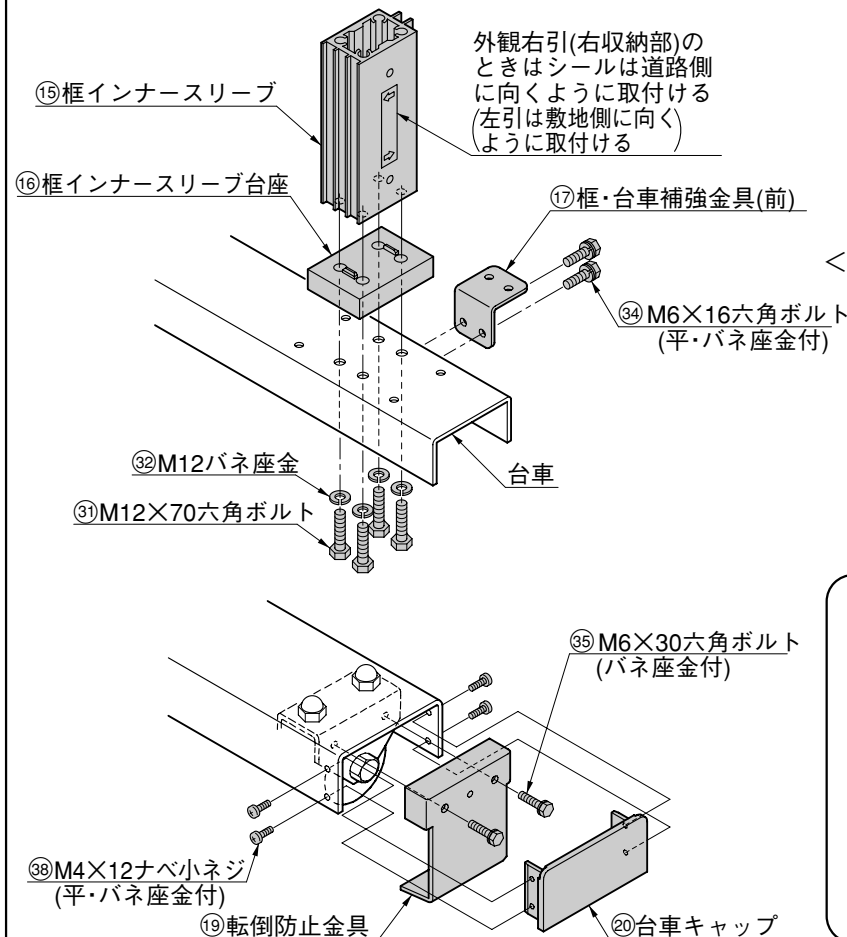
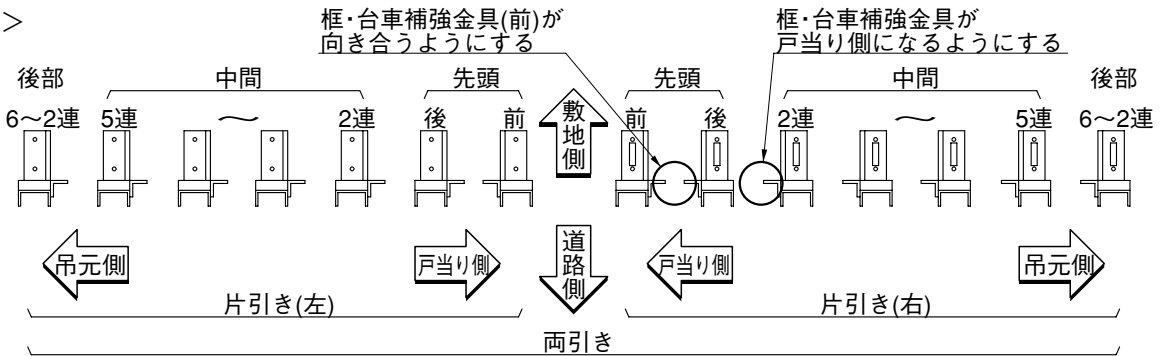
① 本体の組立ては上図番号順(①～⑪)に戸当り側から行なってください。詳細は次ページ以後をご覧ください。

### 3.台車の配列

<平面>



<正面>



① 台車には種類があります。番号シールを参考にして、上記のように台車をレールの上にならべてください。

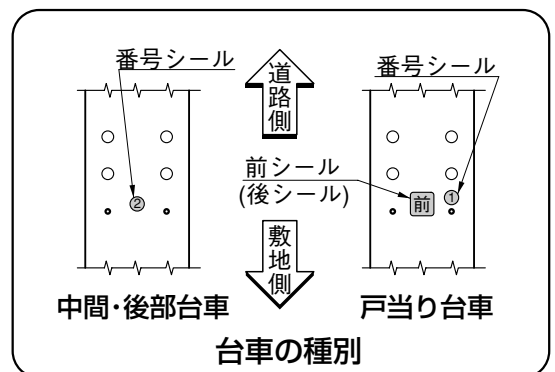
② 框スリーブのフィンの向きに注意しながら、台車と框スリーブを組付けてください。

<注意>

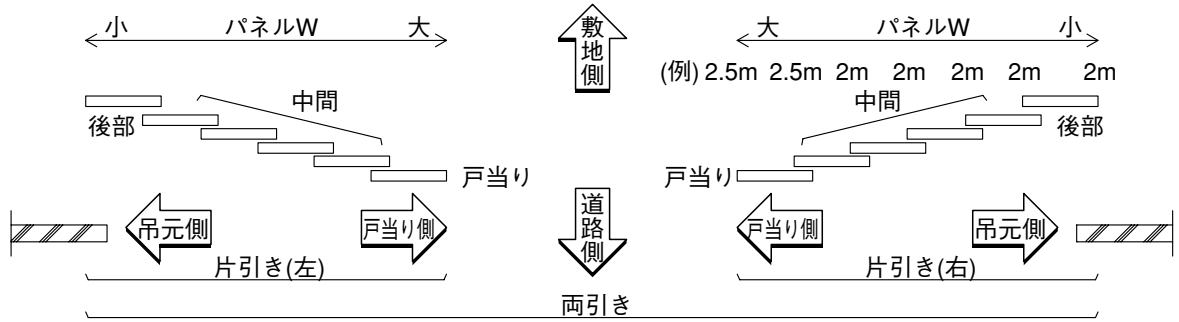
● 框スリーブの向きをまちがえると、台車とパネルが組付けられなくなることがありますので注意してください。

● ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

③ 転倒防止金具を取付けてください。



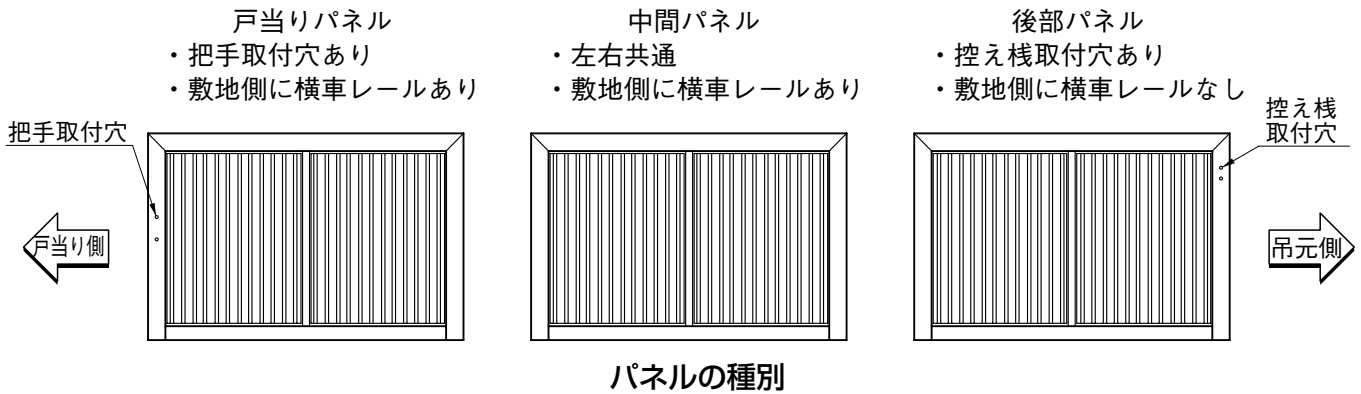
## 4.パネル配置



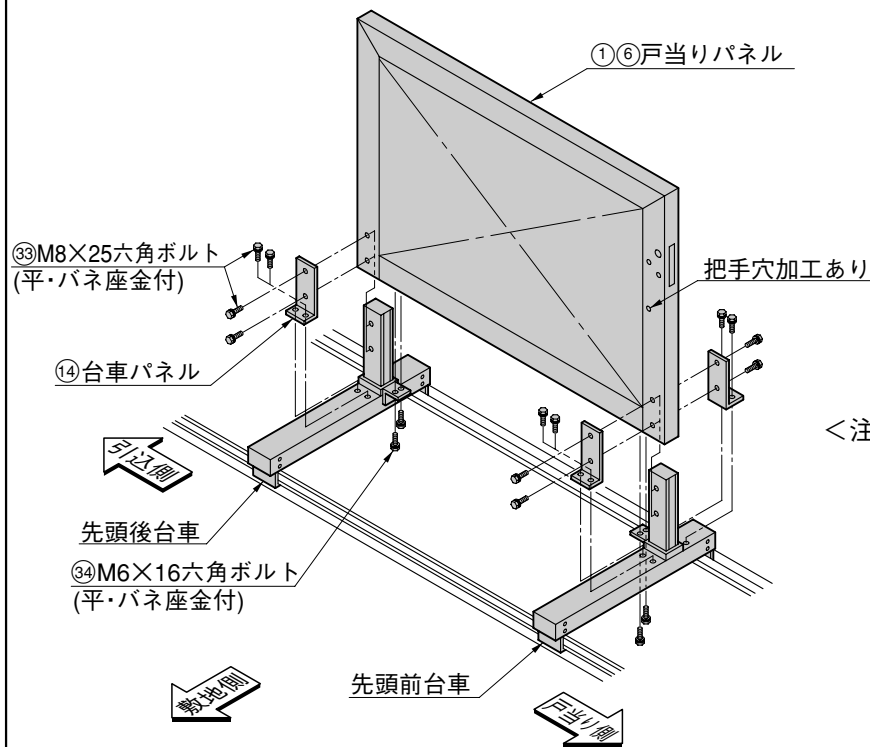
① パネルの配置は上記のようになります。

<注意>

- 戸当り側のパネルW幅は必ず吊元側のパネルW幅以上になるようにしてください。  
戸当り側のパネルW幅が吊元側のパネルW幅未満の場合、引込幅が大きくなりますので注意してください。



## 5.戸当りパネルの組付け



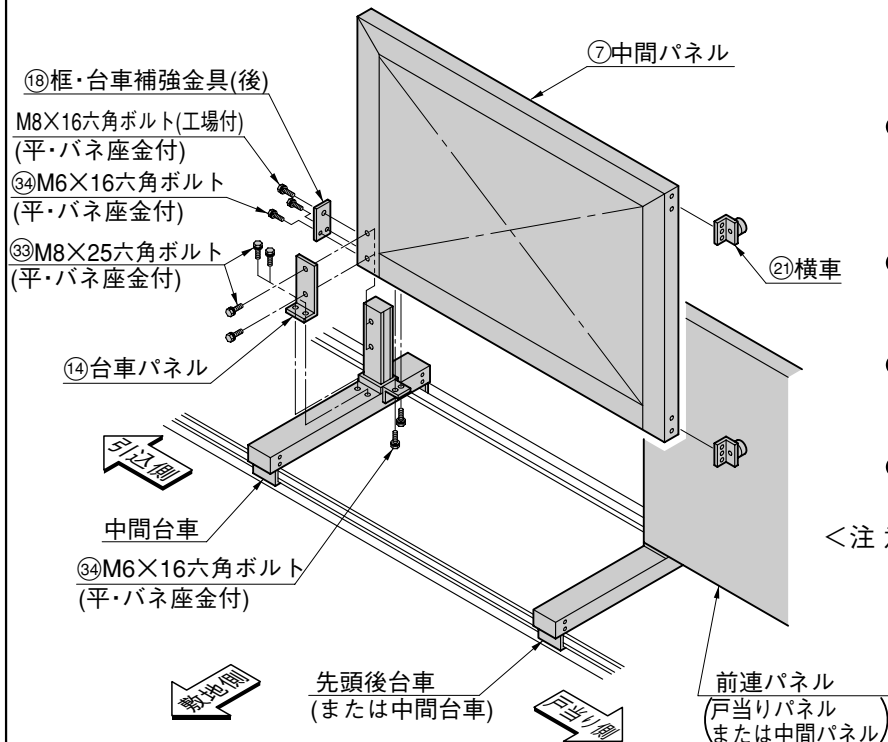
① 把手穴加工がある方を戸当り側にし、パネルを台車に差込んでください。

② 台車パネルを差込み、台車とパネルを組付けてください。

### <注意>

- 本体破損の原因となりますので、パネル下方から取付けるM6×16六角ボルト(平・バネ座金付)は必ず取付けてください。
- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

## 6.中間パネルの組付け



① 前連パネルの横車レールに横車を組付けてください。(詳細は、「7.横車と横車レールの組付け」を参照してください。)

② 向きに注意しながら、パネルを台車に差込んでください。

③ 台車パネルを差込み、台車とパネルを組付けてください。

④ 横車を中間パネルに取付けてください。

### <注意>

- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

## 7.横車と横車レールの組付け

M5×16ナベ小ネジ(工場付)  
(上方のみ)

横車ストッパー(工場付)

M6×16六角ボルト(工場付)

前連パネル  
(戸当りパネル  
または中間パネル)

②1横車

レール部

① 前連パネルの横車レール端部より横車ストッパーをはずし、横車をレールに入れ(上下2ヶ所)再び横車ストッパーを組付けてください。

<注意>

- 戸当りパネル下部の横車レールに横車を組付ける時は、台車パネルと戸当りパネルを取付ける前に組付けてください。

## 8.横車の取付けとパネルの組付け

### 8-1 パネルと台車の取付け

M8×16六角ボルト(工場付)  
(平・バネ座金付)

⑩ 框・台車補強金具(後)  
(中間台車のみ)

③3 M8×25六角ボルト  
(平・バネ座金付)

<注意>

- 本体破損の原因となりますので、パネル下方から取付けるM6×16六角ボルト(平・バネ座金付)は必ず取付けてください。

③4 M6×16六角ボルト  
(平・バネ座金付)

③4 M6×16六角ボルト  
(平・バネ座金付)

⑭ 台車パネル

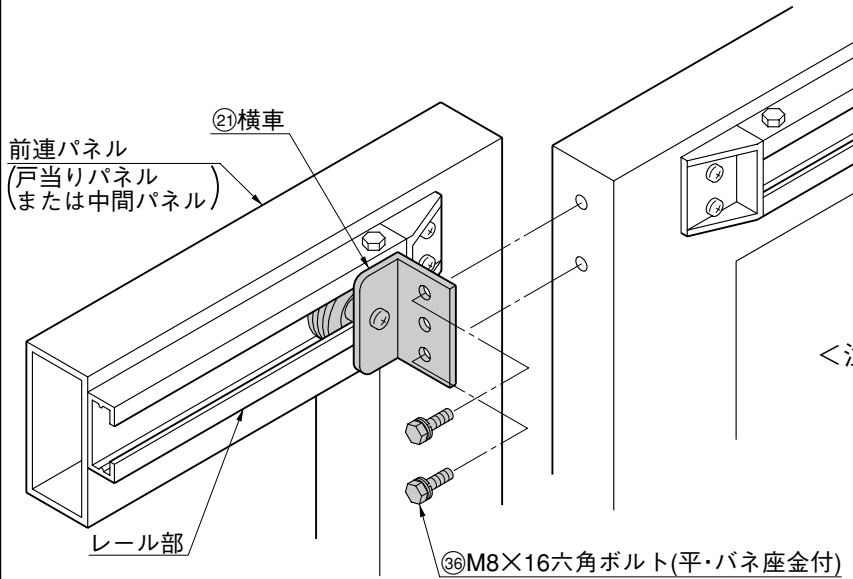
吊元側  
(先頭前台車のみ吊元側)

敷地側  
(先頭前台車のみ戸当り側)

中間・控え付パネルの台車部納り状態

## 8.つづき

### 8-2 横車とパネルの取付け

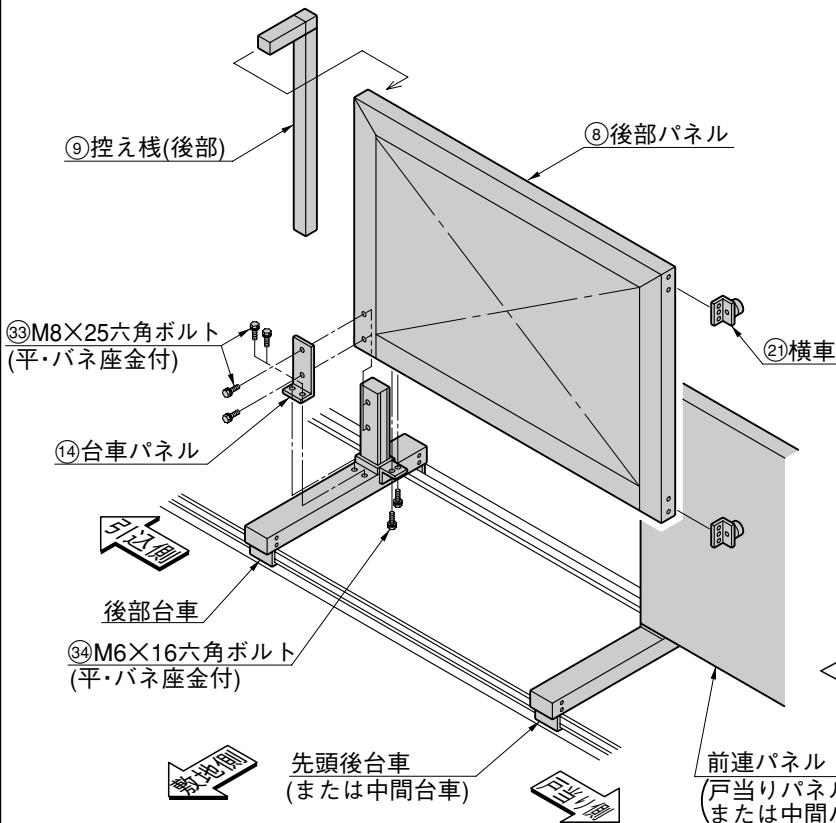


- ① パネルの戸当り側端部に組付いている、M8×16六角ボルトをはずしてください。
- ② あらかじめ前連パネルに組付けてある横車をパネルに組付けてください。

<注意>

- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

## 9.後部パネルの組付け



- ① 前連パネルの横車レールに横車を組付けてください。(詳細は、「7.横車と横車レールの組付け」を参照してください。)
- ② 控え棧(後部)を取付けてください。(詳細は、「10.控え棧(後部)の取付け」を参照してください。)
- ③ 向きに注意しながらパネルを台車に差込んでください。
- ④ 台車パネルを差込み、台車とパネルを組付けてください。
- ⑤ 横車を取付けてください。

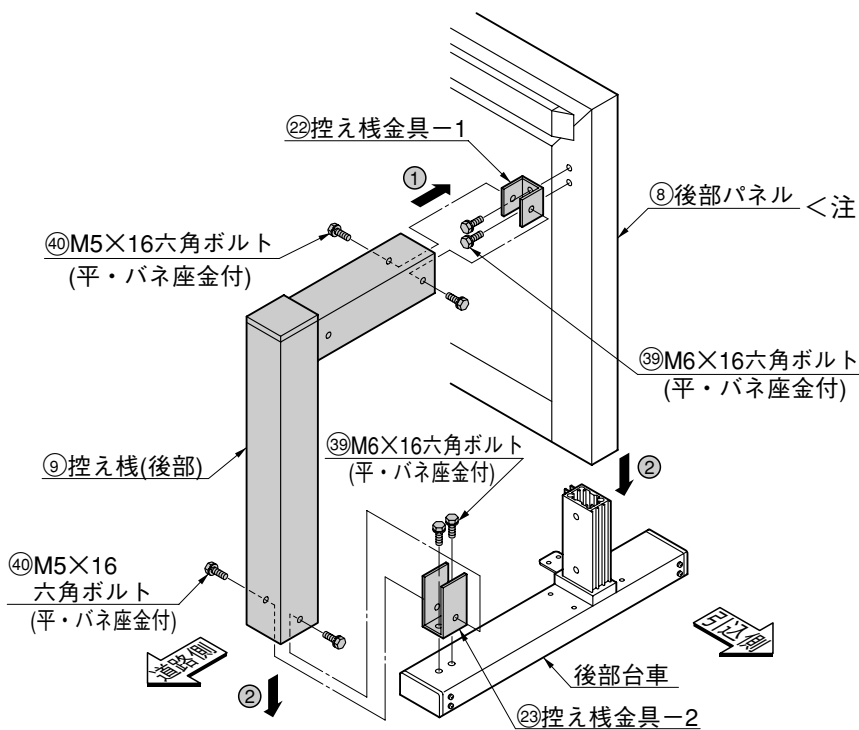
<注意>

- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。



# 10. 控え棧(後部)の取付け

## 10-1 2連・3連の場合

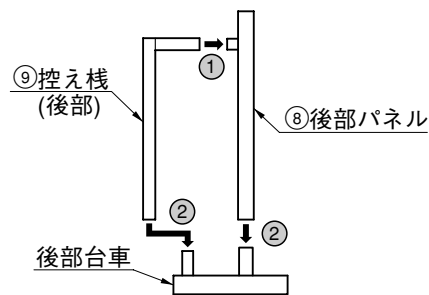


① 控え棧金具-1 をパネルに取付け、控え棧を組付けてください。(左図→①)

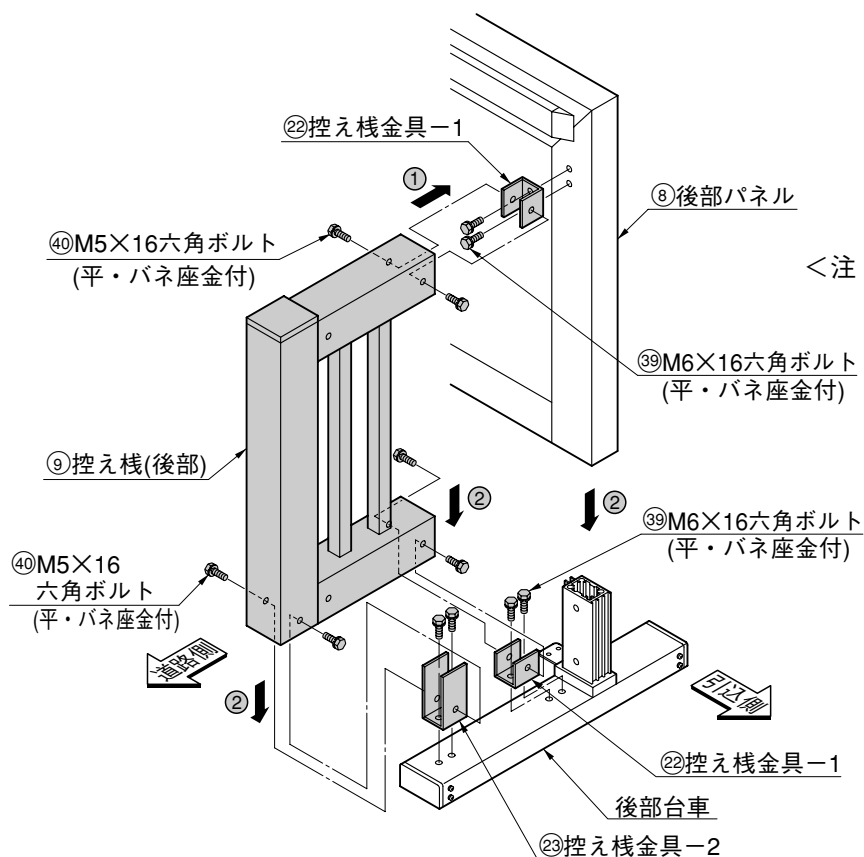
② 控え棧金具-2 を台車に取付け、控え棧を組付けてください。(左図→②)

⑧後部パネル <注意>

- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。
- 控え棧金具-1、控え棧金具-2は、金具高さによって使い分けてください。



## 10-2 4連・5連・6連の場合

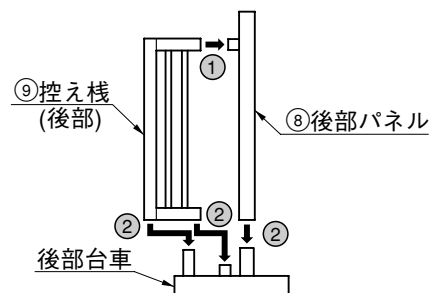


① 控え棧金具-1 をパネルに取付け、控え棧を組付けてください。(左図→①)

② 控え棧金具-1、控え棧金具-2を台車に取付け、控え棧を組付けてください。(左図→②)

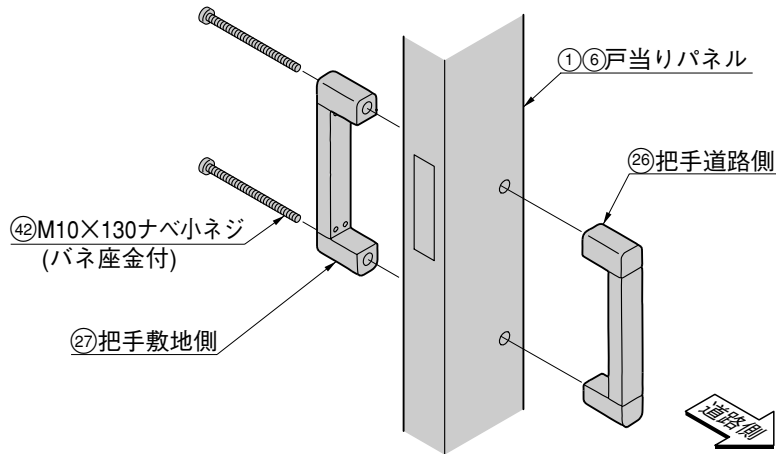
<注意>

- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。
- 控え棧金具-1、控え棧金具-2は、金具高さによって使い分けてください。



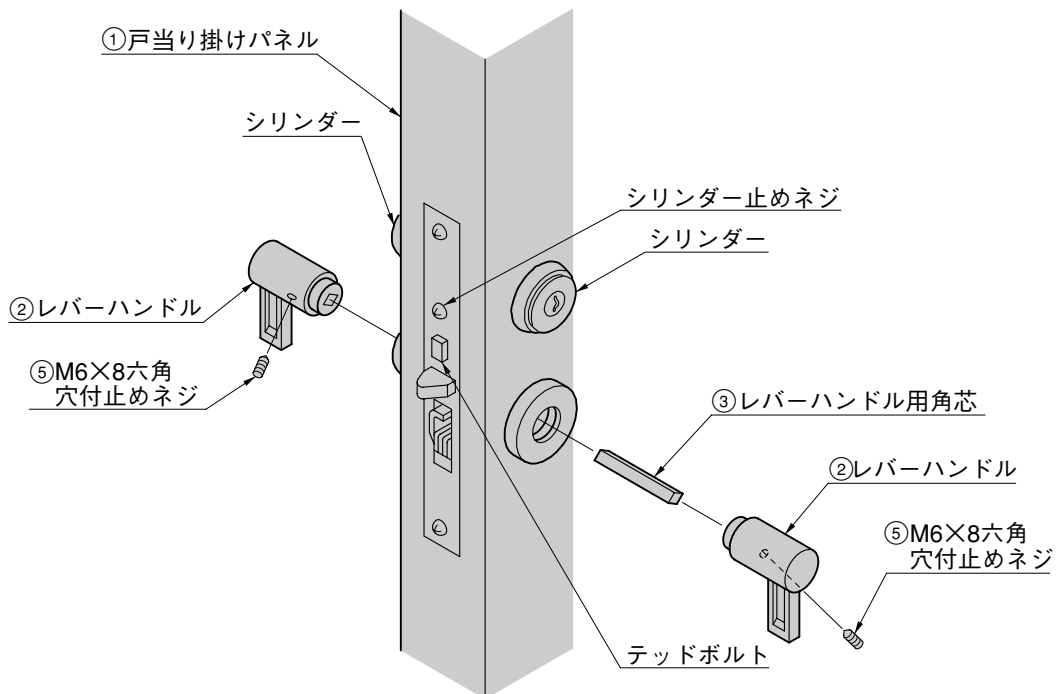
# 11. 把手と錠の取付け

## 11-1 把手の取付け



- 上図のように戸当りパネルに把手を取付けてください。

## 11-2 錠の取付け



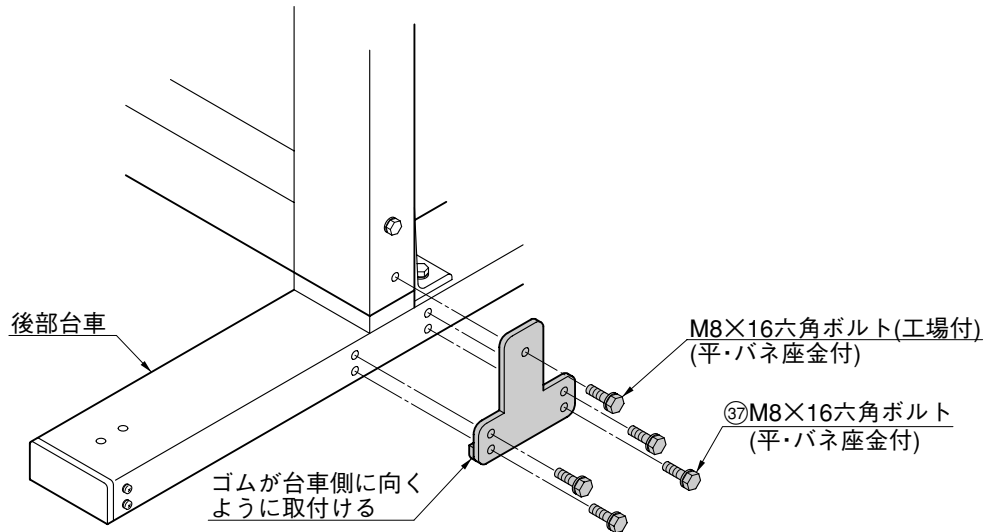
- 角芯を錠にはめ込み、レバーハンドルを差込んで、六角穴付止めネジにて締め付けてください。

### <注意>

- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

## 12.前後ストッパーの取付け

### 12-1 前ストッパー(台車)の取付け

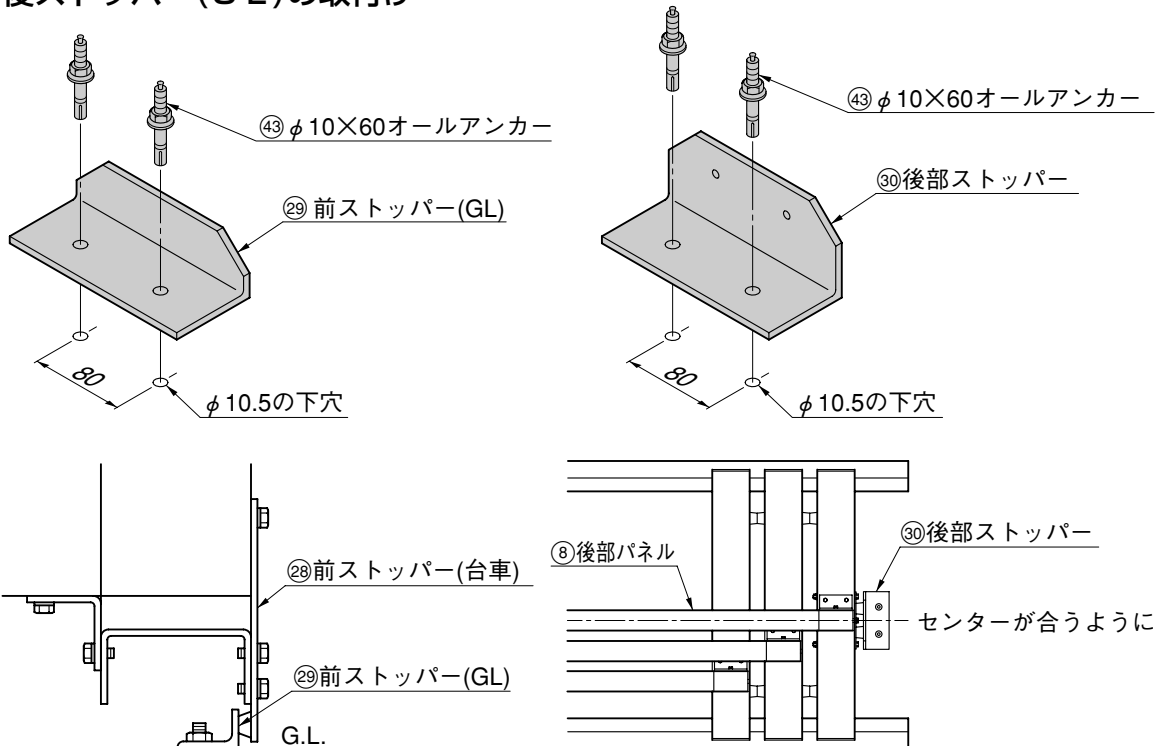


- ❶ パネル吊元側の下方端部に組付いている、M8×16六角ボルトをはずしてください。
- ❷ 上図のように後部台車に前ストッパー(台車)を取付けてください。

<注意>

- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

### 12-2 前・後ストッパー(G.L)の取付け

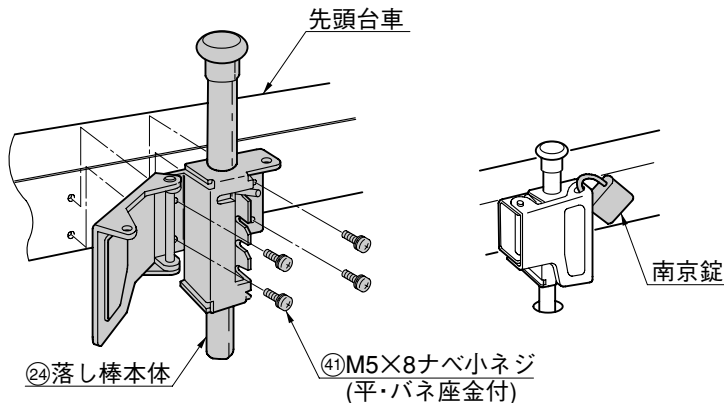


- ❶ ストッパーは本体がすべて組上がった後、オールアンカーで現場の納まりに合わせて固定してください。

<注意>

- 前ストッパーは台車側・G.L側がきちんと当たる位置に施工してください。
- 台車破損防止のため、後部ストッパーのセンターが後部パネルのセンターに合うように施工してください。
- ボルト・ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

## 13. 落とし棒の取付け



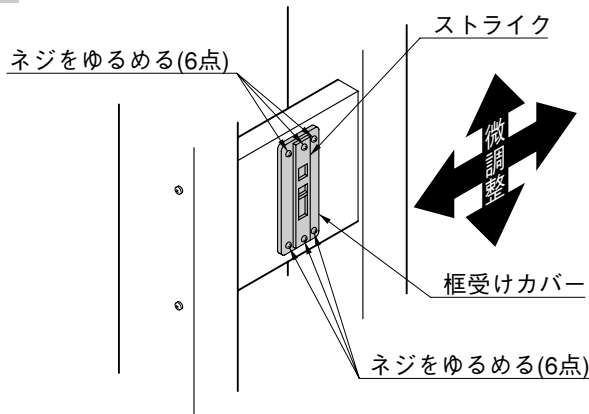
- ① 施錠する場合は、左図のように南京錠等にて施錠してください。

<注意>

- 南京錠は別途購入願います。
- ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

## 14. ストライク(錠受け)の調整

### 14-1 片開きの場合のストライク(錠受け)の調整

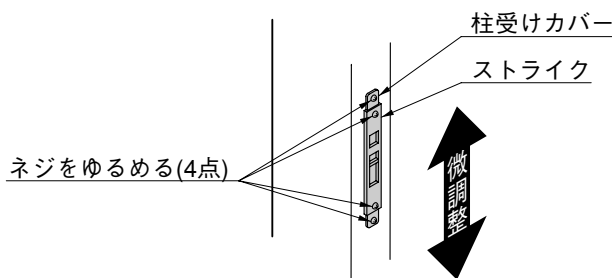


- ① 施工終了後、ストライク・桁受けカバーのネジ6点をゆるめて、錠本体とストライクの位置を合わせてください。

<注意>

- ネジ6点をはずしてしまうと裏板がはずれ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので、絶対にはずさないようにしてください。

### 14-2 両開きの場合のストライク(錠受け)の調整



- ① 施工終了後、ストライク・桁受けカバーのネジ4点をゆるめて、錠本体とストライクの位置を合わせてください。

<注意>

- ネジ4点をはずしてしまうと裏板がはずれ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので、絶対にはずさないようにしてください。

### 工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。

### 施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

**D294**

NQK602369

199903A

200403B\_1001